

令和7年11月13日会議概要

第1 日時

令和7年11月13日（木）午前9時20分から午後0時15分までの間

第2 出席者

池坊委員長、森委員、森田委員、在田委員

警察本部長、総務部長、警務部長、生活安全部長、地域部長、刑事部長、交通部長、警備部長、サイバー対策本部長、京都市警察部長、情報通信部通信庶務課長等

《書記 公安委員会補佐室長、公安委員会補佐室室長補佐》

第3 議事の概要

1 委員報告

(1) 西ブロック署長会議（11月7日）

委員から、「西ブロック署長会議に出席した。共通議題の当番制度については、人身危機事案等が増加する中、どの署も人員不足に苦勞していることが分かった。選定議題の若手警察官の育成については、指導者への指導や若手警察官への教養内容の高度化等まだまだ検討の余地があると思った。」旨、報告があった。

(2) 音楽隊定期演奏会（11月9日）

委員から、「奈良県警の音楽隊との合同演奏もあり、迫力のある演奏会であった。また、子供たちが嬉しそうに白バイに跨っていたり、国際電話の利用停止の申込みを呼びかけるなど大変有意義な演奏会であった。」旨、報告があった。

(3) 北ブロック署長会議（11月11日）

委員から、「北ブロック署長会議に出席し、選定議題の大学当局との連携及び大学生を対象とした各種対策の推進については、学生が多い区域であり、将来の優秀な人材確保のため魅力ある京都府警察を創っていかなくてはならない等の意見があった。」旨、報告があった。

(4) 令和7年京都府警察職員殉職者慰霊祭（11月12日）

委員から、「危険な業務に従事し、避けられない事故で命を落とされた職員の貢献を忘れてはいけない。」「ご遺族の哀しみはいつまでも消えないと感じた。」「殉職者の崇高な使命感と積極果敢な行動力は、これからも京都府警に受け継がれていくものと感じている。」旨、発言があった。

2 議題

(1) 「近畿管区内優秀警察職員表彰」等の受賞者の決定について

警務部長から、近畿管区内に勤務する警察職員で多くの功績があった「近畿管区内優秀警察職員」に当府警察から2名の警察官、また、近畿管区内に勤務し、治安維持に貢献し、特に顕著な功績を挙げた警察官を表彰する産経新聞社主催の「近畿の警察官」に1名の警察官の受賞がそれぞれ決定した旨、報告があった。

(2) 児童相談所との合同による児童虐待対応訓練の実施について

生活安全部長から、本年11月28日、当府警察学校において、児童相談所との合同による児童虐待対応訓練を実施する旨、報告があった。

児童虐待事案への対応については、児童相談所を始めとする関係機関と緊密に連携し、児童の安全確保を最優先とした迅速かつ的確な措置を講じる必要があるもので、京都市と京都府の児童相談所が隔年で実施しており、本年は京都府との合同訓練となる。今回は、児童相談所職員が虐待を受けているおそれのある児童の自宅に訪問する想定、児童相談所の立入・調査を保護者が拒否・妨害するため、裁判所の許可を得て臨検・捜索する想定で、警察に援助要請がなされたものとしてロールプレイング方式の訓練を行うもので、訓練を通じて実際の現場における連携を深めていきたい旨、説明があった。

委員から、「実際、警察に対する援助要請は近年はないのか。」旨、質問があり、生活安全部長から、「今も年間数件はある。」旨、回答があった。

委員から、「児童虐待は、対応内容とタイミングを誤ると重大な結果に発展するので、しっかり訓練していただきたい。」旨、発言があった。

(3) 京都地方検察庁との職務質問研修会の開催について

地域部長から、当府警察本部において、地域警察官の公判を見据えた適正な職務質問技能の確立に向けて、検察庁との研修会を開催する旨、報告があった。

本年11月21日に開催される第一部では、職務質問技能指導係によるロールプレイング教養の実演を行い、令和8年1月22日に開催される第二部では、職務質問に係る適正捜査を目的とした事例検討や質疑応答を行う旨、説明があった。

(4) 令和7年度みんなの力で暴力・違法銃器追放京都府民大会の開催について

刑事部長から、本年11月18日、ロームシアター京都において、令和7年度みんなの力で暴力・違法銃器追放京都府民大会を開催する旨、報告があった。

京都府民大会では、暴力・違法銃器追放に功労があった方々への表彰式や大阪弁護士会所属弁護士、日弁連民暴委員会監事による講演等を予定している旨、説明があった。

(5) 遠隔操作型小型車の試行運用について

交通部長から、本年11月19日から同月21日までの間、知恩院周辺において、遠隔操作型小型車の試行運用を実施する旨、報告があった。

今回の試行運用は、警備会社が警備員の負担軽減、労働環境の改善のため、監視カメラを搭載した遠隔操作型小型車（セキュリティロボット）を巡回走行させる実証実験である旨、説明があった。

(6) 監察案件（1件）

首席監察官から、監察案件1件について報告があった。

3 追加報告

外免切替手続の見直し後1箇月間（10月中）の状況について

交通部長から、外国で取得した運転免許を日本の運転免許に切り替える外免切替手続の見直しが、本年10月1日から開始されたことに伴い、その現状について報告があった。

4 聴聞等

運転免許関係行政処分について

交通部聴聞官から、道路交通法の規定に基づく運転免許の行政処分に係る聴聞、意見聴取の結果について説明があり、22件の行政処分を審議した。

5 個別決裁

(1) 地域交通安全活動推進委員の公務災害の認定について

事務管理課調査官から、非常勤の職員から公務災害認定請求があった災害について、京都府議会議員及び非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例に基づく、京都府公務災害補償等認定委員会への意見照会結果について説明があり、審議の上、公務災害と認定した。

(2) 暴力団対策法に基づく防止命令などの発出に向けた意見聴取の実施について

捜査第四課主席調査官から、暴力団対策法に基づく防止命令などの発出に向け、指定暴力団員からの意見聴取の実施要領等について説明があり、審議の上、実施を決定した。

(3) 公安委員会宛て苦情について（受理1件、処理1件）

公安委員会補佐室室長補佐から、過日受理した公安委員会宛ての苦情申出1件について、調査結果及び通知案の説明があり、審議の上、通知内容を決定した。また、公安委員会宛ての苦情申出に関して、受理1件の報告があり、処理方針を決定した。

6 個別報告

(1) 国家賠償請求事件の勝訴について

監察官室訟務官から、京都府を被告とする国家賠償請求事件につき、本年10月31日、東京地方裁判所は、原告らの請求を棄却する判決を言い渡した旨、報告があった。

(2) 七代目会津小鉄会心誠会事務所撤去活動の終結について

捜査第四課主席調査官から、平成29年に京都地裁から暴力団事務所使用禁止等仮処分命令が決定されていた七代目会津小鉄会心誠会事務所について、所有権が移転され、同所が暴力団事務所として使用されていないことを確認等したことから、本年11月11日、同付近住民に対し、その経緯を説明したもので、事務所撤去活動を終結する旨、報告があった。

(3) 人身安全関連事案への対応について

人身安全対策課長から、全国公安委員会連絡会議に向けて、当府における人身安全関連事案の現状、当府警察における人身安全関連事案の対処体制及び取組について説明があった。

(4) 災害発生時の諸対策等について

警備部次長から、丹後ブロック署長会議に向けて、災害発生時の自治体、警察署等との連携の在り方等について説明があった。

(5) 当面の行事予定等について

公安委員会補佐室長から、次回の公安委員会定例会議及び出席予定行事等について

報告があった。